



## ☆信仰の対象と芸術の源泉

富士山は、古来より靈峰富士として聞こえ、信仰の対象となるとともに、遠方より望む秀麗な姿が日本固有の詩歌・文学作品、また、浮世絵に代表される芸術作品の題材となりました。このように信仰や芸術に大きな文化的影響を与えたとして平成25年(2013)6月26日にユネスコが制定する世界遺産(文化遺産)に記載されました。

富士山は約1万年前の噴火によりおおよそ現在の形になりましたが、平安時代の初めに大規模な噴火が続き、噴火を鎮めるため、ふもとに浅間神社が建立され、浅間大神が祀られました。平安時代も後期になり噴火が収まると、修験者と呼ばれる人たちが修行のため登るようになり、修験道の道場となりました。当時の神仏習合思想もあって富士山は神と仏のいる山として信仰されるようになりました。

須山浅間神社を起点とした須山口登山道は室町時代の記録にも見られ、江戸時代になると富士講の広まりの動きの中で多くの登山者で賑わうようになり、須山村では12家の御師が登山者の宿泊や登山のお世話、神事を行い、登山道集落として栄えました。宝永4年(1707)の大噴火により村も登山道も大きな被害を受け、一時廃道の危機に陥りましたが、村人の努力によって復興し、再び登山者が訪れるようになりました。明治に入って多くの人が須山口から富士登山をしていましたが、明治45年(1912)に登山道の一部が陸軍の演習場となつたことから通行が困難となり、須山口登山道はさびれていきました。平成9年に須山口登山歩道、平成11年には須山口下山歩道が地元住民の手によって整備されました。



## ☆雲の種類

富士山にはいろいろな雲が現れます。笠雲が現れた場合、24時間後までに雨の降る確率は約70%、吊るし雲の場合は約80%とのことです。なお、笠雲や吊るし雲は、形や現れる時期によって晴れる前兆ともされるようです。

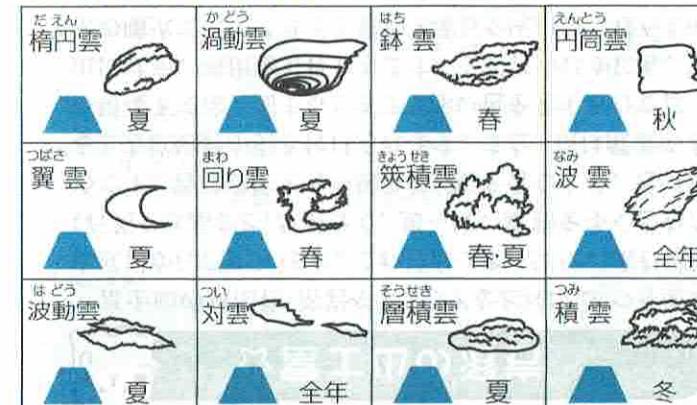
かさぐも

### 笠雲のいろいろ

※右は季節、左はその後の気象傾向です



### 吊るし雲のいろいろ



# 富士山の 豆知識

ふじさんのきめちしき



## ☆富士山ってどんな山

山頂	最高点	3,776.24m
	剣ヶ峰の三角点	3,775.63m
	標高	35度21分38秒
	北緯	138度43分39秒
周囲	山麓限界153km／海拔1,000m付近41km 海拔2,500m付近17km／山頂3km	
最大直径	東西:39km／南北:37km	
平面積	底面積:1,910km <sup>2</sup>	
所在地	静岡県:裾野市、富士宮市、富士市、御殿場市、駿東郡小山町 山梨県:富士吉田市、南都留郡鳴沢村 ※八合目以上:富士山本宮浅間大社奥宮境内地	
山系	独立峰(成層火山)	
種類	活火山	



## ☆富士山山頂のすごい気象記録

- 最低気温/-38.0°C (昭和56年(1981)2月27日)
- 最高気温/17.8°C (昭和17年(1942)8月13日)
- 最大瞬間風速/91.0m/s (昭和41年(1966)9月25日)
- 真冬日の年間日数/248日 (昭和43年(1968))

※真冬日=最高気温が氷点下の日



裾野市立富士山資料館



## ☆富士山の成り立ち

富士山の地下では、海洋プレートが大陸プレートに沈み込んでいます。海底にたまたまものが大陸の縁に押し付けられ、富士山を取り囲む御坂山地や丹沢山地ができました。そのため海の底だったことを示す化石が見つかります。

沈み込んだ海洋プレートに含まれる水や地下深くの熱、圧力などによって、岩石が溶けてマグマとなります。周りの岩石よりも軽いマグマは上昇し、やがて地上で噴火すると火山を作ります。富士山は3枚のプレートが重なる特殊な地点にあり、地下では今も大量のマグマが作られています。

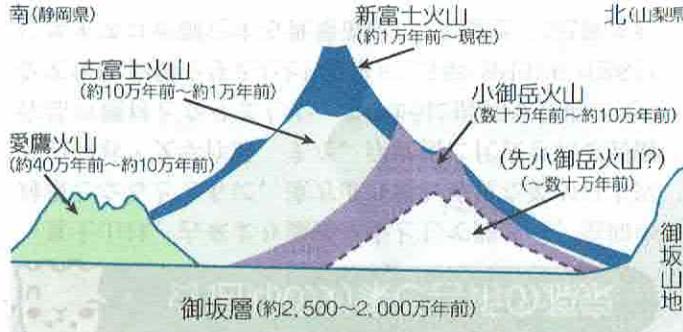
では、富士山ができるまでを追ってみましょう。

前置きとして、火山としての富士山は、古富士火山と新富士火山のことを指します。

富士山の噴火に先駆け、数十万年前から約10万年前まで小御岳火山が噴火して2,500mほどの高さの山になりました。近年の調査では、小御岳火山の下には、より古い先小御岳火山が隠れているかもしれませんと報告されています。

その後、火口の位置をやや南にずらして古富士火山が噴火をはじめ、主に火碎物(火山弾や火山灰などのマグマのかけら)を噴出して成長しました。

そして、約1万年前から古富士火山とともに新富士火山も噴火を始めました。新富士火山の活動が主になると、噴出した大量の溶岩や火山灰が古富士火山を何層にも覆って3,776mにも及ぶ巨大な成層火山を作りました。



## ☆富士山の溶岩

富士山の噴出物(溶岩やスコリアなど)は、ふつう黒い玄武岩からできています。これは白っぽいシリカに富む鉱物(石英や水晶など)が少なく、黒っぽい鉱物を多く含むためです。特に磁性をもつ磁鉄鉱(鉄)を含むため、近づけると方位磁針が引き付けられます。また、鉄は酸素の多い環境下で冷え固まるとさびて赤い色を発するので富士山には赤い噴出物も目立ちます。玄武岩のほかにも、宝永の噴火ではディサイト質の黒曜石や灰白色の軽石も噴出しています。また、地下深くにあったマグマが周囲の岩石を取り込み、運んできた捕獲岩も見つかっています。

愛鷹火山や富士山の下に隠れる小御岳火山は玄武岩よりシリカに富む鉱物を多く含む安山岩でできています。

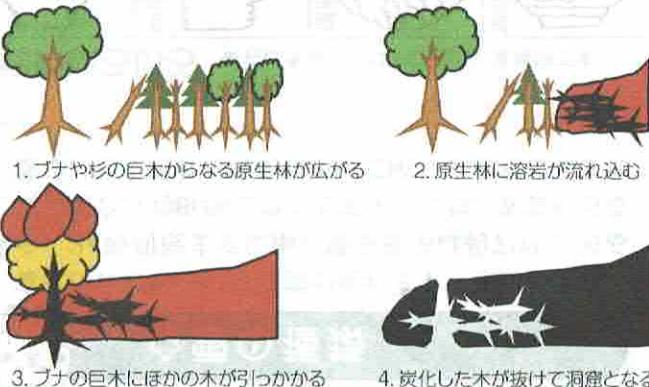


## ☆富士山の溶岩洞窟

火山洞窟の中で最も多いものは「玄武岩火山の溶岩洞窟」です。その数は世界中で1,600ほどあります。富士山には120ほど認められています。

溶岩中にできる洞窟は大変珍しく、特に、複合溶岩樹型は世界でも富士山だけにみられる大変貴重な地質です。8件ほどが報告されています。複合溶岩樹型は複数の木が溶岩によって倒されて重なり合ってできます。水気の多い腐った木を含んだ場合には膨張した水蒸気のガスによって空洞部が作られます。人の母体の胎内に似ていることから御胎内と呼ばれることがあります。

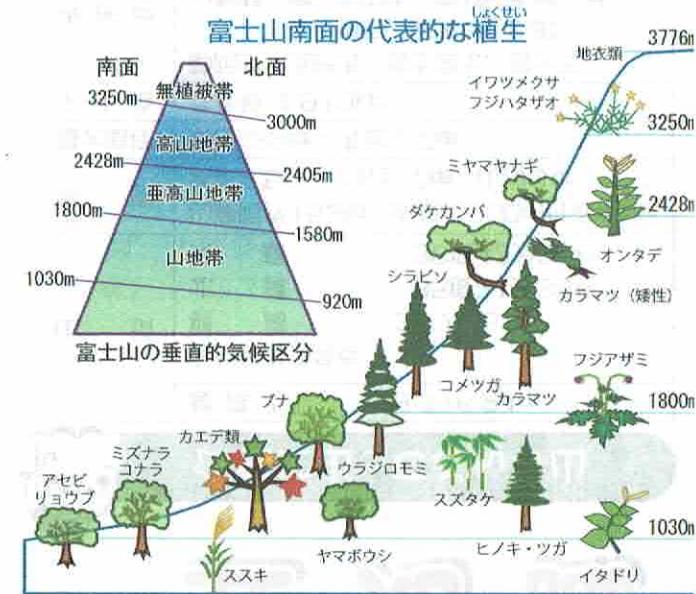
### 複合溶岩樹型(十里木水穴)のでき方



## ☆富士に棲む

気温に敏感な植物は、標高による気温差によって特定の植物が多い階層的な森や林(垂直分布)を作ります。そのほかにも、植物は、降水量・風などの気象条件や地質、方位などの富士山を取り巻く環境によってその垂直分布を変えます。

富士山は新しい火山です。噴火を繰り返していた頃には生き物が棲むことは困難でした。火山活動が落ち着くと、火山灰や溶岩などの植物が育ちにくい大地を微生物や地衣類が植物の進出しやすい土壤に変えました。そのうえにコケ植物や草、木が芽吹いて草原や森林を形成しました。植物たちは数百年という年月をかけて山頂を目指しています。富士山は植物の火山進出を調べるうえで重要な山なのです。



富士山には、様々な動物たちが棲んでいます。哺乳類ではツキノワグマなど約40種、鳥類では約150種、蝶類では約115種が報告されています。そのほかにも様々な動物が報告されていますが、富士山に特有な生き物はほとんど確認されていません。

しかしながら、小さな生き物の中には新種となるような未知の生き物が残されています。富士山の生き物の研究はまだまだこれからなのです。